

▶ 健康づくりセミナーを実施して ◀

福井県敦賀美方消防協会

1. はじめに

敦賀美方消防協会は、福井県の敦賀市、美浜町、若狭町（旧三方地域）の1市2町を管轄する各市町消防団と敦賀美方消防組合により構成する協会です。

管轄する市町は、景観豊かな日本海のリアス式海岸に面しており、また、水の色が水質と水深の違いにより微妙に変化しているため、別名「五色の湖」とも呼ばれている景勝地「三方五湖」、更に日本三大松原の一つ名勝「気比の松原」など、自然豊かな地域で観光の名所です。

また、豪華旅客船（大型フェリー）が敦賀～苦小牧・小樽間に就航しているのをはじめ、北陸と関西を最短距離で結ぶ湖西線や北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道が管内を縦貫し、近年では、平成27年に金沢まで開通した北陸新幹線が2022年度に敦賀市まで延伸する工事が進んでおり、港湾の都市として更なる発展に向け躍動する地域となっています。



2. 各消防団の概要

当協会は、昭和45年11月1日敦賀美方消防組合が発足したことに伴い、敦賀、美浜、三方各消防団の発展を目的に、昭和46年4月1日に設立しています。

敦賀市を管轄する敦賀消防団は、8分団・団員数278名、美浜町を管轄する美浜消防団は、4分団・団員数233名、若狭町の旧三方地域を管轄する三方消防団は、4分団・団員数233名（全て平成29年4月1日現在）で構成しており、消防ポンプ車24台、小型動力ポンプ積載車29台、小型動力ポンプ7台を配備し、常備消防と連携協力し災害活動を行っています。

また、平成23年4月に女性活動班、平成29年4月に敦賀市内の看護大学生で編成する機能別班を新たに設け、住民目線に立った火災予防活動や応急手当て等の普及啓発活動にも取り組んでいます。

3. 健康づくりセミナーの開催に至った経緯

消防団員公務災害防止研修は、平成22年度から共済基金の御協力を受け継続して実施しており、平成28年度は4年前に実施し参加者から好評であった健康づくりセミナーを計画しました。消防団員は、消防力の3要素の一つである「人員」として重要な消防力であり、個人の体調管理や健康管理は消防力に大きく影響されます。更に近年の消防団員の高齢化も鑑み健康に対する意識を高めていただくことを目的として本セミナーの実施に至りました。

4. 健康づくりセミナーを実施して

平成29年2月19日（日）と3月5日（日）の2回に分けて開催し、消防団員86名に受講してい

ただきました。講師に日本赤十字社福井県支部から高橋ふみ子先生をお招きし、生活習慣病を防ぐ健康習慣として、バランスのよい食生活の重要性や日頃からの運動の必要性について講義と実技指導をしていただきました。セミナーを終えて回収したアンケートには、「少しの時間にストレッチをするだけでも運動になることが分かった。」「日頃からの運動不足を感じ、食事と運動の大切さを知ることができた。」「健康が第一であり、健康であってこそ消防団活動が行えることが分かった。」など日頃からの健康づくり



を意識する感想が多くありました。

5. 今後の取組

公務災害防止研修は、大変有意義なものであり、継続して取り組むことは何より重要なことです。そして、今回の講義にあった「日頃からの健康づくり」を消防団員が継続して実践することにより、敦賀美方消防組合のスローガンである「災害に強い安全で安心なまちづくり」に向け、消防力の向上を図りたいと思います。

